

# 「とうまる」日本鶏品評会

## 最優秀賞に渡辺春吉さんが

陽春の四月五日(日)木場八幡宮の境内で本町鶏日本鶏保存会創立七周年記念行事の一環として、第三回品の品評会が行われ渡辺春吉さんが手に育てた愛鶏が最優秀賞に選ばれました。

当日は、鶏二十数羽、日本鶏三十数羽が出展されました。審査員には県鶏保存会連合会副会長藤沢法電氏(弥彦村) 県審査員大橋栄一郎氏(巻町) 両氏を招き、今回は特に体形、飼育、鳴声など

を重点に厳しく審査されました。本町には鶏約一〇〇羽が飼育され県内では一位を誇っています。ただ今回は日がよかつたためか、出展が少なく、関係者も当惑顔。審査にあられた藤沢氏、大橋氏の話を総合すると今回入賞を逸した鶏でも良い鶏が多いため、今後の大会が楽しみとのことでした。ただ全般的に管理、飼育の面でもう少し気をつかっていただきたいと、大会当日もう少し鶏を美

- しい姿で品評会に望ませてほしいとの講評でした。
- 成績は次のとおり
- 一部 鶏 (教務廳)
  - 〇 最優秀賞(黒埼町長賞) 渡辺春吉
  - 〇 優良賞(保存会長賞) 土田金二
  - 〇 ( ) ( ) 保刈勝太
  - 二部 日本鶏 (大物)
  - 〇 優秀賞(教育長賞) 山際憲治
  - 〇 優良賞(保存会長賞) 伊藤辰春
  - 〇 ( ) ( ) 山際芳郎
  - 二部 日本鶏 (チャボ)
  - 〇 優秀賞(名誉会長賞) 山際芳郎
  - 〇 優良賞(保存会長賞) 山際憲治
  - 〇 ( ) ( ) 保刈勝太



毛なみや体型などを慎重に審査

### 六月は河川愛護月間です。川をきれいに

河川、海岸愛護思想の普及啓もう並びに河川、海岸の清掃美化の推進をはかるため、毎年河川、海岸愛護月間を実施していますが、本年度も昨年度と同様環境週間とあわせ次の期間実施いたしますのでご協力をお願いします。

● 実施期間 ●

自 昭和五十六年六月一日  
至 昭和五十六年六月二十日

# くろさき 廿日ばなし

これは昭和六年に刊行された「黒埼村報」から抜粋したものです。

## 村名あれこれ

慶長 合村以来三十年の歴史を有するわが村を更生するため、どんな事業を必要とするか、お話しを聞きたいと思えます。

板井 三十年の歴史を有する「黒埼」という村名を廃することは誠に忍びない気がする。黒埼よりも

大野の方が世間に通りが良いからと改称することは、いかがなものでしょう。

慶長 私たちが旅行すると、どちらですと問われて「黒埼」ですと答えても、政党や政治に関係した人ならすぐ分かるけど、そうでない人はどの辺ですか?と問い返します。これを大野だと言わずぐに分かります。黒埼郵便局が大野町郵便局と改称されたことも通りがよいからであると同様です。

三十年の歴史ある村を変えることは大いに考慮しなければならぬことではあるが、町の商取引の上から、また、行政上からも一考を要す問題であると信ずる。

阿部 村名を変えることは駄目ですね。生まれた時親がつけてくれ

## 電燈・自動車の出現

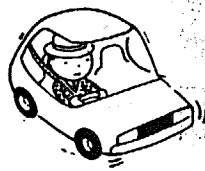
(中略)

当時は今のように、各家庭に輝いている電燈もなければ蓄音機も知らなかった。明治四十五年一月初め大野へ電燈が引かれ、その少し前の年に越後鉄道が開通するまで、汽車さえ見た人も少なく、ましてや当時の人に飛行機を見るなどは思いも及ばないことで、明治四十四年始め、新潟から驚き郷排水機の水車何かに、自動車が今

の長居小路(五区)の堤防の角に止まったという話が町に伝わり、これが日ごろ話に聞く自動車という物かと、多くの人が集まり「本村人自動車初見参」の一幕の光景だったと思われる。

もちろんオートバイなどは、まだまだ後の産物で、自転車も大野に数台しかなかった。それが四五年経過した大正三年には八十台となり、さらに増加し大正末期には八百台、昭和三年には千台を突破し、十五年間で十三倍の激増を示した。

また手引き荷車も大正初年百台程であったものが、昭和二年には三百台近くになった。さらに近代の色彩を多分に加えたりヤカーの出現により、しだいに人力車、手



引き荷車が影をひそめていった。昭和二年リヤカーは二十四台、昭和六年には三百台を超す、すごい勢いで普及していった。

これらは陸上交通のみでなく、船舶についても、明治、大正時代は船頭さんたちが手綱を引いて、上流の白根、三条方面へ上ったのが、発動汽船が発達した今日見ることが出来ない光景で、昔の風情は味わえなくなってきた。

# 今年の子は三七八人 四月六日全町で入学式

四月六日、町内六校で一斉に入学式が行われ、今年の子は三七八人。ここ大野小学校には一七二人の児童が就学しました。

四組にわかれた児童は、新しい服に身をつつみ、お母さんや先生の拍手に迎えられ、広い体育館に整列。校長先生の歓迎のあいさつに続いて、児童を代表して、池田渉君が歓迎のことばを述べ、「この学校は大勢なので、楽しいことがたくさんあります。遠足や運動会や祭りなどもあります。わから

ないことがあつたらなんでも聞いて下さい。そして明日から元気に学校に来て下さい」と温かい言葉を贈り、式を終りました。



## 学校別入学児童数

学校名	男	女	計
大野小学校	91	81	172
山田小学校	43	32	75
立仏小学校	28	35	63
木場小学校	11	17	28
黒鳥小学校	10	11	21
板井小学校	8	11	19
計	191	187	378

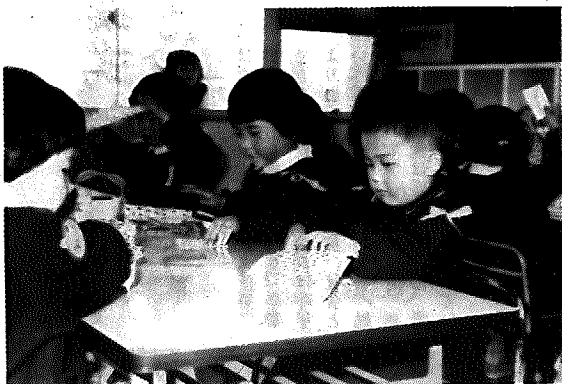
泣き出し、お母さんの所に戻っていく子もいました。しかし、日がたつにつれ、友だちもでき、みんな楽しんで日々を過ごすようになることでしょう。

## 五十六年度入所児童

施設名	男	女	計
大野保育所	24	18	42
興野保育所	10	11	21
木場保育所	10	11	21
善久保育所	5	13	18
立仏保育所	11	19	30
寺地保育所	13	17	30
山田保育所	17	14	31
板井保育所	26	41	67
黒鳥保育所	8	26	34
合計	135	127	262

# 今日からみんなお友だち

## 板井保育所 入園式



ようやく春らしくなってきた四月七日、板井保育所で行われた入園式が行われました。青木先生の「みなさん、こんにちわ。今日からみなさんは板井保育所の子供です。明日からは先生やお友だちといっしょに遊びましょう」というあいさつが始まり、上級の子供たちの演奏、先生方の紹介がすむと、子供たちは付き添いのお母さんの手を離れて教室へ入っていき、今年度の板井保育所に入る良い子は二十一人、みんな元気で、先生に名前を呼ばれると、「ハイ」という元気な返事。中には

## 商業業者の皆さんへ 労働保険料の申告と納付はお早めに

昭和五十六年度の労働保険料(労災保険と雇用保険の保険料)の申告と納付の受付が、四月一日から五月十五日まで行われています。まだ手続きをされていない事業主の方は、お早めに、保険料申告書に保険料を添えて、銀行郵便局、労働基準監督署、労働基準局または、県雇用保険課に提出しましょう。

本年は、労災保険料が一月一日から、雇用保険料率が四月一日から改正されました。保険料の算定にあたってはご注意ください。

なお中小企業事業主の方々のために「労働保険事務組合」の委託制度があります。この制度は、事務組合が事業主に代って労働保険の事務手続きを処理する制度です。委託された場合は、事業主本人および家族従業員も労災保険に加入できますので、この機会に労働保険事務組合に委託をお勧めします。

くわしくは、もよりの労働基準監督署、労働基準局、県雇用保険課におたずね下さい。